



受験サプリ

# 反転授業と留学中の補習に活用し、自立型学習力育成に大きな成果

— 静岡英和女学院中学校・高校（静岡・私立） —

取材・文／丸山佳子



右から、ICT推進委員長 杉浦俊樹先生  
進路部長 小山祥史先生  
事務(無線LAN設置担当) 松浦晃司さん

## School Data

創立1887(明治20)年／普通科  
生徒数 461人(中学191名、高校270名)  
進路状況(2013年度)大学進学 75%・短大進学9%  
専各進学11%・就職 0%・その他 5%(留学など)  
静岡県静岡市葵区西草深町8-1  
TEL 054-254-7401  
URL <http://www.shizuoka-eiwa.ed.jp>

## ■受験サプリの活用法

### ●反転授業の基礎学習として活用



「受験サプリ」を自宅での基礎学習に使い、実際の授業で復習・応用を行う反転授業。講義の映像は授業中の説明にも役立つという。



今年「受験サプリ」を導入した高校2年P3クラスの生徒たち。「授業がわかりやすくなった」「映像授業で勉強が楽しくなった」と好評だ。

「こうしたカリキュラムを導入したのは9年前。本校の生徒たちははじめに勉強に取り組みむので進学実績はあがってきました。しかし、自ら進んで取り組む力が弱い。これが、本校の課題です」と進路部長の小山祥史先生は言う。

この課題克服のために、同校では2年前から他校の授業見学を積極的に行い、

### 生徒の意見を取り入れた導入が、自主性育成のきっかけに

静岡英和女学院は、創立以来の充実した英語教育に加え、生徒の発達に合わせた「テーラーメイド教育」に力を注いでいる中高・貫校である。中学から高校1年までは、「スタンダード」と「アドバンス」トクラスに分かれて基礎学力を育成。高校2年時から、人文社会系・文化芸術系進学(P1)、カナダの姉妹校に5カ月間の留学をする私学難関文系進学(P2)、国公立・私学難関理系進学(P3)の3つのプログラムを用意し、個性を伸ばす進学・留学をサポートしている。

### ●貸し出し用タブレットを設置した自習室



導入後は積極的に予習復習する生徒が増えたという。全校生徒が興味をもつように、貸し出し用のタブレット端末を用意し、インフラづくりも。

### ●ICT推進委員が多彩な活用法を提案



パソコンに強い小池穂野香さん(左)と岡崎まどかさん(右)が今期の委員。クラス共有の反転授業予習スケジュール表を作るなど、活躍中だ。

### ●カナダの姉妹校に5カ月間留学している生徒たちは、毎日の補習に活用中

留学している高校2年P2クラスの生徒たちからは、「日本からのメールを通じての課題だけでなく、「受験サプリ」があるので帰国後の不安がなくなった」との声が。現在は、2校に17名が留学中。



写真左はセント・マーガレット・スクール。写真下はバルモラル・ホール・スクールでの自習の様子。

「タブレット操作に慣れている生徒に教わる気持ちでやると、導入はうまくいく。ひいてはそれが、生徒の自主性を育てることや授業を楽しくすることにつながる」と小山先生は言う。

タブレット端末の導入を検討してきた。そこで直面したのが、生徒に端末を準備してもらうには、保護者の理解が必要という問題である。

「そんなときに知ったのが、「受験サプリ」でした。自立型学習のためには、時間があるときに繰り返し見られる映像授業から始めるのが取り組みやすい。また、5カ月間カナダに留学する生徒たちも、現地で日本語の映像授業を受けられる。さらに「受験サプリ」なら、受験に役立つセンター対策講座や志望校対策講座も利用できる。これが保護者への大きな説得材料になりました」と小山先生。

昨年にICT推進委員会を立ち上げ、1月に保護者説明会を実施。その後は生徒の中からICT推進委員を選抜して使い方をルールをまとめ、セキュリティ関係などの設定が複雑な無線LAN設置にも学校全体で取り組んできた。

今年度は高校2年の1クラスとカナダ留学組に限って導入したが、来年は高校1年の「アドバンス」クラスにも導入。「受験サプリ」中学版完成後は、全校導入を進めていくという。

4月からは、「受験サプリ」を使った反転授業がスタートした。「映像で予習をすると、生徒たちの理解力が格段に違ってくることに驚きました」と数学の担当である小山先生。

生物担当でICT推進委員長の杉浦俊樹先生も、「生物の授業は、分類ツリーを黒板に書くだけで時間がかかるのですが、「受験サプリ」を使うと映像を映すだけでいい。効率よい授業ができる点もメリットです。講師陣の教え方も非常に参考になります。数学と生物からスタートした反転授業を、全科目で取り入れていきたいですね」と話す。

「受験サプリ」活用の反転授業で、理解力アップ。今後は全校導入へ